




4月27日(金)、本年度初めての生徒朝会を生徒会主催で行いました。この日、高校の荒尾・玉名地区体育大会(本校も会場校)が行われており、中学の生徒朝会は“桜の広場”で行いました。

生徒会では前日に生徒会専門委員会を行っており、生徒会執行部、各委員長から今年度の抱負と取り組みについて、附属中学校の全生徒の前で紹介がありました。一部を紹介します。

4月は終わりに近づき、1年生は学校生活に慣れてきた頃だと思います。また、2年生は先輩になってより一層気合いが入り、毎日様々なことに挑戦していることだと思います。そして、3年生は最高学年になって多くの場面でリーダーになる人が増え、今は体育祭の練習に向けて汗を流していると思います。

そこで、今日の名言を紹介します。『どこかまだ足りないところがある。まだまだ道があるはずだ。』と考える人の日々は輝いている。これは、後にパナソニックとなる松下電器を創った松下幸之助さんの言葉です。連日、体育祭練習が続いていますが、自分の団に足りない部分を全員で見つけて、全員で協力しよりよい体育祭を創り上げましょう。(櫛田さん)



明日からゴールデンウィーク!と思ったら学校で来た、残念...
最近、体育祭の練習で疲れますが、1日がとても早く感じます。
今日、松倉先生が「体育祭練習をやり直します。頑張りますよ」とおっしゃいました。「リーダーも団員もみんな練習頑張ろう! おいおい! 集中していこう。」
今日はたわり班活動とたわり班昼食がありましたね。私たちの班はほぼ2年生がみんな話していました。今年は男女混合でしたね。何でなんだろう〜笑
あと、案外、共通点探しが終わってませんでした。←次回せう
↓
たわり班、さしものは男女混合だったのです。きっと考えがあるのだ。執行部にきいてみよう。

(記録: 徳井さん)

お昼は、縦割り班昼食でした。1年生から3年生まで学年を超えて縦に班をつくり、その班ごとに昼食をとりました。1年生は緊張感があり、2、3年生は上級生として責任が増したことを実感できたでしょう。左は3Aクラスの“班日誌”です。体育祭の練習や縦割り班活動、縦割り班昼食について、感想・思いが楽しそうに述べてありました。

下は縦割り班昼食の様子です。1年生は緊張していますね。



生徒朝会では、今回、鹿子木先生(2B担任、数学担当、陸上部顧問)から“プラーシーボ効果”について興味深いお話しがありました。陸上競技にも取り組む先生ならではの話しで、勉強や練習をどう効率よく成果・成長につなぐのか、一つの大きなヒントになりました。生徒の皆さんも、日頃からアンテナを張って、自身の“知的好奇心”を磨いてほしいものです。

2018.5.2 副校長 山部